



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学報

2026.3.20 Vol.187

三蔵五訓

真理を探究し、道理を实践する。
 豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
 生命を尊重し、自然を畏敬する。
 個性を伸展し、紐帯性を培う。
 未来を志向し、可能性に挑む。

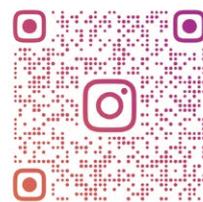


祝 卒業

令和7年度	学位記授与式	学長式辞	1
令和7年度	学位記授与式	理事長祝辞	2
令和7年度	学位記授与式	福山市長祝辞	3
令和7年度	学位記授与式	福山商工会議所会頭祝辞	...	4
令和7年度	学位記授与式	在学生送辞・卒業生答辞	...	5
令和7年度	学生表彰 (卒業生・修了生)		7

ご卒業おめでとうございます

学内情報を発信しています。
是非ご覧ください。



福山大学
Instagram



福大で結ばれた絆を大切にして、 さらなる高みを目指そう！

令和7年度 学位記授与式 学長式辞



学長 大塚 豊

卒業生・修了生の皆さん、本日ここに福山大学の学位授与式を開催し、皆さんのこれまでの努力と成果を讃えることができることを心から嬉しく思います。また、この晴れの日を皆さんとともに迎えになったご家族や関係者の皆さまにも心よりお慶びを申し上げ、あわせて長年にわたる本学への物心両面でのご支援に対して深甚なる感謝の意を表します。そして学生諸君を支えてくださった教職員の皆様にも、深く感謝申し上げます。

卒業生・修了生の皆さんが本学で過ごした年月は、知識を深め、技術を磨き、人間として成長する貴重な時間だったことでしょう。学問に励み、友人と切磋琢磨し、地域社会との関わりを通じて多くの経験を積んだ皆さんは、まさに本学の建学の精神「知育のみを偏重するのではなく、全人教育の実践」を体現している存在だろうと思います。皆さんは本学において、それぞれ自ら選択した専門学問分野の教育を受け、本日の卒業を迎えられました。是非ともその学びの成果を社会のために役立てて頂きたいのです。

社会は急速に変化し、予測困難な課題が次々と現れています。私たち人類は今、地球温暖化などの気候変動、種の大量絶滅の結果としての生物多様性の喪失、人工物質の増大、化石燃料の燃焼や核実験による堆積物の変化など、地球全体の気候と生態系の変化に人間が決定的な影響を与えるようになった人新世の時代に生きていられると言われます。また、ウクライナやガザ、ベネズエラをはじめ、地球上のあちこちで人間の傲慢さと誤った判断が引き起こした戦乱や人道危機が続いています。これらを一つ一つ解決して行くには、人間の叡智に期待する以外にありません。

こうした世界の動きは、私たちの学びに何を求めるでしょうか。私は、三つの力を挙げたいと思います。第一に、「現場に学ぶ力」です。研究室や講義で培った知識を、現実の課題に照らし合わせて検証し修正し、また挑戦する。第二に、「協働する力」です。国境や専門分野を越え、異なる立場の人々と共通目的を見出すこと。第三に、「責任ある創造の力」です。AIのような強力な技術を活用すればするほど、倫理・安全・透明性への配慮が不可欠になります。

皆さんが本学で学んだ事柄と、これからの職業や生活の中で扱い、あるいは挑戦しなくてはならない課題とは、人によって、その大きさや度合いがさまざまだと思います。加えて、皆さんのこれからの道が如何なるものであれ、私たちの生活の中にすっかり浸透して来たデジタル技術の働きに見られるように、職場や日常の生活場面で関係する知識・技術

は日進月歩です。今獲得した知識や技術もあつと言う間に陳腐化してしまいます。しかし、皆さんは卒業研究やゼミでの研究をはじめとして、未知の内容を自ら探り、その何たるかを知る術を学んだはずで、先人から伝えられた知識や技術だけでなく、自ら新しいものを手に入れる方法です。学びに終わりはありません。人はずっと学び続けたいといけません。福山大学で学んだ知識、技術、そして何よりも学びの方法を活かして、どうか、自信を持って前へ進んで下さい。どこにいても、福山大学の卒業生としての誇りを胸に、地域や社会に貢献する人材として活躍されることを願っています。幸いなことに、本日卒業、修了されるほぼ全ての皆さんが、すでにこれから進むべき道が決まっています。本学卒業生の就職内定率は、この10年余り毎年ほぼ100%を達成しています。1975年創設の本学は今年度で開学50年の節目を迎えましたが、この半世紀のうちに、わが学窓を巣立った卒業生・修了生の総数は、すでに4万2,000人を優に越えています。これら卒業生・修了生の中からは、備後地域を中心に全国いたる所で、さらに世界の中で地域や組織のリーダーや中核的存在として活躍する人材が数多く生まれています。そして、ここ約10年の間に、同窓会組織が福山支部を皮切りに、香川、岡山、愛媛、沖縄、そして島根の各県支部が設立されました。福山大学を母校とする皆さんと大学との絆が卒業を境に途切れてしまうのではなく、末永く結ばれ続け、いつでも思い立って訪ねて見ようと思える関係こそ理想的と考えます。同窓会の活動にも是非とも積極的に参加してください。本学を通じて結ばれた絆をこれからも大いに活用してください。

最後に、心からのエールを送ります。どうぞ失敗を恐れないうで下さい。失敗は挑戦したことの証です。安易に妥協せず、人間の尊厳を中心に据えた意思決定を重ねてください。専門性を磨きながら、異なる価値観と対話し、公共に資する自らの役割を選び取って実践して下さい。皆さんの言葉と行動が、地域を、そして世界を少しずつ良くします。福山大学も挑戦を続けます。福山大学はいつでも皆さんと共にあり、いつでも門戸を開いて皆さんを待っています。皆さんには、これからも本学の挑戦に積極的に関わって欲しいものです。皆さんの未来が希望に満ち、豊かで実りあるものとなることを衷心より祈念し、^後の言葉といたします。

令和8年3月20日

実社会に羽ばたいていく 皆さんへ

令和7年度 学位記授与式 理事長祝辞



学校法人 福山大学 理事長 鈴木 省三

本日の令和7年度福山大学学位記授与式にあたり、ご挨拶申し上げます。

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご臨席の保証人の皆様にも心よりお慶び申し上げます。また、ご多用中にも拘わらずご臨席を賜りましたご来賓の皆様にも厚く御礼申し上げます。

さて、皆さんがこれから羽ばたいていく社会は、国内外を問わず、不確実性という霧に包まれています。日本国内では、生産年齢人口の減少や地域間格差の拡大、地域の弱体化に起因する医療提供体制の確立、高齢化の進展と人生100年時代の到来に伴う社会構造・産業構造の変化など、様々な課題が山積しています。

一方、海外に目を向けると、先進諸国においても既存の政治に対する不満や現状への閉塞感が高まり、大衆を扇動するような急進的かつ非現実的な政治思想であるポピュリズムの台頭が指摘されています。また、国家・民族間の紛争がまだまだ継続し、その終結が見通せない状況です。加えて、世界各国の共通原則であった「国際協調」と「自由貿易」という二大原則も揺らいでいます。さらに、新たなパンデミックへの備えや気候変動がもたらす予想外の災害への対応という課題のほか、カーボンニュートラル社会の実現をはじめとする持続可能な開発目標(SDGs)の達成、そしてその先を見据えた取り組みが地球規模で求められています。

このような時代に必要なのは、知識や技能に加え、多様な人と協働し、変化の中で価値を生み出す力です。そこで皆さんに、特にお伝えしたい言葉があります。それは「エンゲージメント」です。自分の役割や仕事、学びに主体的に関わり、周囲と信頼を築き、より良い成果と成長に向けて力を注ぐ姿勢です。組織や地域社会では、一人ひとりが意味を見出し、工夫し、協働してこそ活力が生まれます。どうかそれぞれの進路先で、活力・熱意・没頭することを失わず、「何に貢献できるか」「どうすれば良くできるか」を問い続け、前向きに関わり続けていただきたいと思います。

また、皆さんがさらに成長していくうえで、もう一つ大切なことがあります。それは「先輩の背中を見て学ぶ」という姿勢です。皆さんの進路先には、経験を積み、困難を乗り越えてこられた諸先輩方がおられ、仕事の進め方、判断の軸、相手への配慮、失敗からの立て直し方などは、マニュアルに頼るだけでなく、日々の振る舞いの中にある「なぜそうするのか」をよく観察され、学びを自らの行動へと移していかれ、その積み重ねこそが、皆さんの成長速度を大きく変えるはずで、そして、いずれ皆さん自身が、次の世代にとっての「背中」となられ、未来を創造する「未来創造人」となれることを願っております。

さらに、皆さんの未来を語るうえで欠かせないのがAIの

活用です。人口減少による人手不足や産業構造の転換が進む中、変化の速い市場や複雑化する課題に迅速かつ的確に対応する力が求められています。AIは単なる効率化のアイテムにとどまらず、知を組み合わせ、選択肢を広げ、判断を支える基盤となりつつあります。全世代が学び合いながら活用し、仕事や学びの質を高めることが、競争力と持続可能性の鍵になるとされています。もっとも、現在のAIは結論の妥当性や影響まで保証するものではありません。だからこそ、私たち一人ひとりが内容を吟味し、最終判断を行う姿勢は、先ほど申し上げたエンゲージメントに通じるものといえます。そのような姿勢の積み重ねが、周囲からの信頼を高め、成果へとつながることでしょう。

卒業生・修了生の皆さんは、これから様々な組織に所属し、社会の一員として組織を発展させる役割を担っていきます。エンゲージメントを大切に主体的に関わり、先輩から学び、AIを含む新しい技術も積極的に取り入れながら、「揺るぎなく前進」されることを心より願っております。

そして、皆さんに入学式でお伝えさせていただいた、福山大学創設者の宮地茂先生が表明された「三蔵五訓」、
一、真理を探究し、道理を実践する
一、豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる
一、生命を尊重し、自然を畏敬する
一、個性を伸展し、紐帯性を培う
一、未来を志向し、可能性に挑む
という理念は、これまで皆さんが積み重ねてこられた学びと挑戦を支える指針となってきたものと思います。卒業の本日、あらためて胸に刻んでいただき、福山大学の卒業生として実社会に羽ばたかれることを願っております。

また、本学で得た恩師・学友との絆は生涯の宝です。同窓会を通じて交流を深め、自らを高める糧としていただくとともに、いつでも気軽にこのキャンパスにお越しいただき、お元気な姿をお見せいただければと思います。皆さんのご活躍が、後輩諸君の成長と学校法人の益々の発展につながるものと考えます。どうか皆さんには、本年度、開学50周年という節目を迎え、これまで4万人を超える卒業生・修了者を輩出してきた福山大学の卒業生としての誇りをもって、福山市をはじめ地域社会の発展に貢献する貴重な存在として活躍されることを心から期待申し上げます。

最後になりますが、これまで慈しき育てていただいたご家族への感謝を大切にしてくださいようお願いするとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いと激励の気持ちを込めて、ご挨拶いたします。

令和8年3月20日

令和7年度 学位記授与式 祝 辞



福山市長 枝広 直幹

皆様、御卒業、誠にめでとうございます。日々勉学に励まれ、晴れの日を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、これまで皆様を温かく見守り、支えてこられた御家族の皆様にもお祝いを申し上げます。そして、熱意を持って指導にあたってこられた、学長を始めとする諸先生方に、深い敬意を表します。

皆様は、福山大学の建学の精神である「人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育」のもと、豊かな人間性や問題解決能力など、生涯にわたって社会で活躍できる実践力を身につけてこられました。ここ福山の地で培ったこれらの力を糧に、今後皆様一人一人が自身のフィールドで活躍されることを、心より期待しております。

このたび、本市では、今後5年間のまちづくりの指針となる「福山みらい創造ビジョン」を策定しました。「希望、安心、活力ある備後の中核都市」をめざし、重点的に取り組む政策のひとつに、「若者や女性に選ばれる都市づくり」を掲げています。若者の活躍は、社会の多様性を高め、従来の慣習や価値観に捉われない新たな価値を創造する力となり、地域経済の活性化や都市の持続的な成長につながります。若者や女性が

「暮らしたい」「働きたい」と思える都市の実現に取り組んでまいります。

AI技術の進化や国際情勢の緊張など、複雑化、不安定化する社会の中で、これからいく度か困難に直面することもあるでしょう。しかし、どんな困難にも、その先には希望があります。次代を担う皆様には、広い世界に目を向け、力強く羽ばたいてほしいと願っています。そして、時には福山のことを懐かしく思い出し、いつかチャンスがあれば、福山市のまちづくりに貢献していただければと思います。

結びに、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げますとともに、福山大学の今後ますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和8年3月20日

令和7年度 学位記授与式 祝 辞



福山商工会議所 会頭 小丸 成洋

卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。また、ご家族ならびにご関係者の皆さまにおかれましても、この良き日をお迎えになられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

さて、現代社会は、人口減少や労働力不足、深刻化する環境問題に加え、AIやデジタル技術の進展により、社会経済の仕組みが絶えず変化しております。こうした変化は、地域社会にも及び、生活の利便性が高まる一方で、犯罪への悪用などの懸念も生じており、技術を活用する私たち一人ひとりの倫理観や人間性がより一層問われる時代となっています。そのような中、皆さんは福山大学での学びを通じて培われた知性と創造性、そして豊かな人間性をもって、こうした変化を前向きに受けとめ、未来を切り拓いていかれるものと強く期待しております。今後は、新たな技術や価値観が次々と生まれる時代となり、柔軟に学び続ける姿勢こそが、皆さんの可能性をさらに広げる原動力となることでしょう。

福山商工会議所におきましては、「政策提言」「中小企業等の活性化」「地域経済の活力強化」という3つの使命のもと、地域の声に寄り添いながら、「あらゆる変化に柔軟に対応し、改革、挑戦し続ける商工会議所」として、持続的な地域発展に取り組んでおります。

これらの活動を地域の中小企業の皆さま方に力強く支えていただくためには、専門知識に加え、問題解決力やコミュニケーション力といった総合的な人間力を備えた人材の活躍が不可欠です。

福山大学におかれましては、昭和50年の開学以来、時代の要請に応じた教育改革を重ね、確かな人間力を育む全学的教育システムを構築されてきました。その成果として、多くの優秀な卒業生が産業界や地域社会の第一線で活躍され、高い評価と信頼を得ております。皆さんも、社会の発展と地域の未来を支える貴重な人材として活躍されることを心より願っております。

また、福山大学は地域や企業との連携を通じ、地域課題をテーマとした研究やプロジェクトに力を入れておられます。皆さんが在学中に得られた実践的な経験は、これから出会う社会のさまざまな場面で大きな力となるはずです。皆さん一人ひとりが大学での経験を糧に、新たな風を吹き込み、地域に新しい価値を生み出す原動力となることを期待しております。

結びに、卒業生の皆さんの前途が明るく希望に満ちたものでありますよう、心よりお祈り申し上げますとともに、福山大学のますますのご発展を祈念し、祝辞いたします。

令和8年3月20日

令和7年度 学位記授与式 在学生送辞



福山大学 在学生代表
生命工学部 海洋生物科学科

久貞 秀斗

冬の寒さも和らぎ春の訪れを感じるこの佳き日に、晴れて福山大学を卒業される先輩の皆様、誠におめでとうございます。在学生一同、心からお祝い申し上げます。

本日卒業される先輩方は、福山大学に入学されてから本日に至るまで、日々の勉学・研究をはじめ、サークル活動、ボランティア活動など様々な分野でご活躍をされてきました。この4年間又は6年間の大学生活では、多くの楽しい思い出の他にも辛い思い出も少なからずあったことと思います。それらすべての経験が今後の人生において貴重な財産となり、これから大きな世界に羽ばたく皆様の礎となることを信じております。

私たち在校生は、勉学や研究、サークル活動などを通して、先輩方から非常に多くのことを教えていただきました。私のこれまでの大学生活をふり返ってみますと、サークル活動で初めてのことに挑戦する際や資格取得に向けた勉強、また、就職活動について親切にアドバイスをいただきました。ボランティア活動では、先輩方と共に地域を盛り上げるため、様々なイベントを企画・運営し、地域の方々との交流や、皆と協力して一つの物事を成し遂げる大切さを教わりました。さらに、進路について悩んでいた時に、私が抱えていた不安を聞いてくださり、どのように解消すれば良いかなど、親身に考えてくださいました。私たち後輩が大学に入学して経験した様々な不安も、先輩方が手を差し伸べてくだ

さったおかげで、今日まで乗り越えることができました。私たち在校生は先輩方のご指導に心から感謝するとともに、後輩たちの手本となれるような存在を目指して日々精進してまいります。

本日、晴れの日を迎えられた先輩方は、まもなく社会という大海原に乗り出すこととなります。そこでは先輩方にとっては初めてのことばかりで、風いだ時もある荒れる時もあると思います。しかし、私はどのような状況であっても、先輩方は常に変化に順応し、自身が何をすべきかを追求することで未来を切り拓くことが出来ることとっております。先輩方も福山大学で過ごされた日々を忘れず、ご自身の信念に基づいて、様々な分野でご活躍されることを心より願っております。

最後に、先輩方の更なるご健勝とご多幸を心からお祈りし、僭越ではございますが、送辞とさせていただきます。

令和8年3月20日

令和7年度 学位記授与式 卒業生答辞



福山大学 卒業生代表
人間文化学部 心理学科

大坪 滉一郎

厳しい寒さが和らぎ、心地よい日差しや徐々に花開く桜に春の訪れを感じる季節となりました。本日は、このような素晴らしい学位記授与式を挙げていただき、卒業生一同を代表して厚く御礼を申し上げます。本日はここに卒業の日を迎えられたことを大変嬉しく思います。

また、ご多用の中、理事長鈴木省三先生、学長大塚豊先生をはじめ、諸先生方並びにご来賓の皆様方、保証人の皆様に多数ご臨席をいただき、心より御礼申し上げます。先ほどは、理事長先生並びに学長先生より訓示と激励のお言葉を賜り、来賓の皆様方よりご祝辞を賜りました。また在学生の方からは温かい励ましの言葉をいただき、重ねて御礼申し上げます。

4年前の春、私たちは真新しいスーツに身を包み、不安と期待を抱き入学式を迎えました。あっという間の4年間でしたが、私たちが入学した頃には新型コロナウイルスの影響も次第に落ち着き、多くの学びや経験を対面で重ねることができたかけがえのない時間がありました。

この4年間が充実した時間になったのは、志を持って物事に取り組む姿勢と周囲の方々の存在の大切さを学ぶことができたからです。私たちはそれぞれの学部・学科で勉学に励み、様々なサークルなどに取り組んできました。困難に直面しながらもそれらの活動に取り組むことができたのは、その活動を通して実現したいこと、すなわち志があったからだと思っています。そしてもう一つは、ご指導してくださった先生方や、切磋琢磨した友人の存在があったからです。例えば私は、三蔵祭で心理学科が制作したお化け屋敷の企画に「ストーリー性のあるお化け屋敷で、来場者に怖がり

ながらも楽しんでもらいたい」という志を持って、演出を考案する形で参加しました。意見の衝突もありましたが、周囲の方々の協力やサポートのおかげで、ストーリー面だけでなく、お化け役をはじめとする会場内の仕掛けに至るまで、完成度の高いお化け屋敷を作り上げることができました。

米国のクラーク博士が「少年よ、大志を抱け」と言われたことや、同じく米国の作家ヘレン・ケラーが「一人ではできることは少ないが、協力すれば多くのことを成し遂げることができる」と言われたように、我々卒業生のこれから歩いていく道でも、確かに必要な考え方だと思っています。抱くに値する大志があるからこそ、成し遂げる事をイメージしながら仕事や大学院での研究に取り組むことができると思っています。そして、周囲の方々と協力していくことで、それを成し遂げることができます。福山大学で出会った仲間とともに、勉学やサークル活動などを通し、充実した時間を創り上げることができたことを心から幸せに思っています。

今日の日をもって私たち卒業生は、それぞれ新しい道を歩んでいきます。それぞれの場所では出会いや学び、そして戸惑いや悩みもあるかと思っています。その時には、福山大学で学んだことを思い出し、新たな仲間や先輩方とともに乗り越えていきたいと思っています。

結びにあたり、今日までお世話になりました諸先生方並びに職員の皆様、その他関係するすべての皆様に心より感謝申し上げます。卒業生一同、福山大学の今後益々のご発展と、在学生の皆様のご活躍とご健勝を心より祈念いたしまして、答辞とさせていただきます。

令和8年3月20日

令和7年度 学生表彰(卒業生・修了生)受賞者一覧

【学長賞】

No	部 門	学部／研究科	学科／専攻	氏 名
1	スポーツ部門	経済学部	経済学部	福間 尚志
2	スポーツ部門	経済学部	経済学部	雪島 颯太
3	学 業 部 門	薬学部	薬学部	桑田 裕貴
4	学 業 部 門	薬学部	薬学部	別所 花菜

【奨励賞】

No	部 門	学部／研究科	学科／専攻	氏 名
1	学 業 部 門	工学部	情報工学科	伊藤 潤平
2	学 業 部 門	工学研究科	電子・電気工学専攻	鳥谷部 峻史

※受賞者については、令和8年3月20日(金)の学位記授与式(卒業式)において表彰を行います。

編 集 後 記

卒業生・修了生の皆様、ご卒業おめでとうございます。福山大学で培われた学びと経験が、皆様のこれからの人生を豊かに彩る力となりますよう、心より願っております。新たなステージでのご活躍を期待しています。母校との絆を大切に、これからも福山大学を応援していただけますと幸いです。

発 行 福山大学
編 集 福山大学広報委員会
〒729-0292
広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084)936-2111
FAX (084)936-2213

<https://www.fukuyama-u.ac.jp>